

第19回 研究報告会を開催しました

平成 29 年 10 月 31 日に福井大学文京キャンパスにおいて、第 19 回研究報告会を同大学との共催で開催し、多くの方にご参加いただきました。

今回は、初めての取組みとして招待講演を行いました。光産業創成大学院大学の加藤義章学長の招待講演（テーマ：光技術・経営融合による起業、第二創業）では、企業人学生が実社会の中で直面した課題について大学で実践的に学び、3 割以上の学生が起業につながっているという大学の特徴をお話いただきました。また、東京工業大学の松本義久准教授の招待講演（テーマ：医学、生命科学における放射線利用の現状と可能性）では、放射線の有用性や可能性等についてお話いただきました。

エネ研からは前田主査研究員が、陽子線がん治療における陽子線分割照射の 1 回当たり線量を従来より高く設定できる可能性等について、実験の成果を発表しました。田中主幹研究員は、福井県内で普通に見られる陸生藍藻類のイシクラゲへのイオンビーム照射によって、強い紫外線耐性を有し多糖類を高効率で分泌する有望な変異体が得られたことを、畑下主任研究員は、優れた熱安定性・機械的強度・耐薬品性・耐放射線性を持つポリイミドによる新しい高分子ファイバー開発の現状を、それぞれ発表しました。

また、エネ研と共同研究をしている福井大学の勝山俊夫客員教授が、新磁性材料を用いた超小型の光ビーム走査ミラー開発の経緯と、今後の眼鏡型網膜走査ディスプレイ開発の見通しについて発表しました。

このほか、ポスター展示では研究や産業支援の成果を発表しました。



エネ研旭信昭理事長の挨拶



福井大学眞弓光文学長の挨拶



講演の様子（光産業創成大学院大学の加藤義章学長）

レーザー加工DIYセミナーを開催しました

福井県内の企業による新産業の創出を支援するため、「レーザー加工DIY（Do It Yourself）セミナー」を平成 29 年 11 月 1 日にエネ研で開催しました。同セミナーは、比較的廉価な市販のキットを組み立てたレーザー装置を用いてレーザー加工の基本を学ぶ内容で、これまでレーザー技術を導入していなかった企業など、県内企業から 9 名が参加されました。

セミナーでは、光産業創成大学院大学の藤田和久教授、福井県工業技術センターの芦原将彰主任研究員、およびエネ研の嶋津技術活用コーディネータが、レーザーに関する基礎知識と活用事例、レーザー加工機でできることと組立て方法、およびレーザーを扱う際の安全対策等についての講義を行いました。セミナー後半では、市販のキットを組み立てたレーザー装置や廉価な小型半導体レーザーを含め、計 3 台のレーザー加工機を受講者全員に自ら操作していただき、アクリル板から定規を作ったり、コルク板からコースターを作るなど、レーザー加工の実習を行いました。

受講者からは、「今まで扱ったことのなかったレーザーを知ることができた。今後の仕事で活かせる場面があるかもしれない。」「実際に加工することで、楽しくレーザー加工に触れることができた。」「いろいろなタイプのレーザー加工機を使うことができて良かった。」等の感想が寄せられました。



セミナーの様子

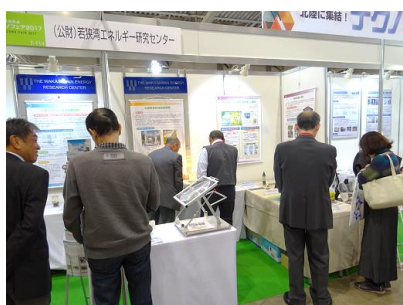
北陸技術交流テクノフェアなどの展示会に出展しました

企業・大学・研究機関・団体などが出展する北陸最大規模の総合技術展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア 2017」が、平成 29 年 10 月 26・27 日に福井県産業会館で開催され、県内外のものづくり企業など 170 社を超える機関が出展しました。来場者は2日間で約 17,600 名を数えました。エネ研ブースにおいては、原子力発電所の廃炉に向けて開発している「レーザー除染機」に関する研究や、太陽熱を利用して月土壌等から酸素を作り出す研究、農業・生物分野の研究を紹介したほか、県内企業がエネ研の支援事業を活用して開発した新製品を展示・紹介するなど、多くの方々にエネ研の幅広い活動を紹介することができました。

また、11月8日には富山産業展示館 テクノホール（富山市）で「北陸ビジネス街道 2017 しんきんビジネスフェア」、11月23日にはきらめきみなと館（敦賀市）で「つるが環境フェア」に出展し、エネ研の研究開発や産業支援の取組み状況を紹介しました。



北陸技術交流テクノフェア 2017



北陸ビジネス街道 2017 しんきんビジネスフェア

海外からの研修生を対象に「原子力行政コース」を開催しました

原子力発電の導入を検討または実施しているアジア各国の原子力人材育成に貢献するため、原子力の安全行政に関して実践的に学ぶ文部科学省の研修事業「原子力行政コース」を平成29年10月23日から11月10日まで3週間にわたり、アクアトムなどで開催しました。この研修は、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」の一環としてエネ研が実施しています。

本研修には、バングラデシュ、マレーシア、インドネシア、タイ等のアジア7か国とオブザーバー参加のポーランドを含めた8か国から、原子力庁、原子力委員会、電力公社等の行政官12名が参加し、原子力の安全行政、安全文化、人材育成、原子力防災・危機管理等に関する講義を受講しました。また、緊急時対応や国民理解など各国の原子力導入計画に関する課題について討論を行ったほか、福井県内の原子力関連施設を見学しました。

研修生からは、「将来原子力発電所を建設するに当たり、何を準備すべきかについて理解を深めることができた」、「事故の教訓を学び、安全文化の重要性を実感した」といった感想が寄せられました。



オフサイトセンターで説明を聞く研修生

新メンバー紹介



産業育成部主任

かわかみ よしゆき
河上 芳幸

担当：拠点化計画促進補助金、
廃止措置情報交換会

(平成 29 年 11 月 1 日付)

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。本誌の記事でご紹介する場合もあります。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵 便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail : kikakushien@werc.or.jp TEL : 0770-24-7270 FAX : 0770-24-7275

